

授業科目名・形態	ヘルスアセスメント	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	今野修・千葉孝子・村川徳昭	開講期	3年後期	単位数	1

【授業の主題】

ヘルスアセスメントとは、対象の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントと心理・社会的アセスメントを統合したアセスメントである。本授業では、対象の身体的側面を査定するためのフィジカル・イグザミネーションの技法のみならず、心理的・社会的側面へのアセスメントの方法も学び、対象を全人的にアセスメントできる知識・技術の習得を目指す。

【到達目標】

身体的・心理社会的・スピリチュアルな側面からの健康に関する包括的な情報を収集し、その情報を質的・量的に分析・統合・判断できる。

【授業計画・内容】

第1回	ヘルスアセスメントの概要(今野)	第10回	シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際④：グループ発表(今野)
第2回	心理・社会的アセスメント(今野)	第11回	シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際⑤：グループ発表(今野)
第3回	呼吸器系のアセスメント(千葉)	第12回	救命救急の場におけるヘルスアセスメント① (村川)
第4回	循環器系のアセスメント(千葉)	第13回	救命救急の場におけるヘルスアセスメント② (村川)
第5回	消化器系のアセスメント(千葉)	第14回	クリティカル・シンキングとヘルスアセスメント(今野)
第6回	神経・感覚器・筋骨格器系のアセスメント(千葉)	第15回	スピリチュアル・アセスメント(今野)
第7回	シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際①：グループ・ワーク(今野)		
第8回	シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際②：グループ・ワーク(今野)		
第9回	シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際③：グループ・ワーク(今野)		

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

次回の授業内容については予告するので、次回までに教科書等で予習してくる。

【主な関連する科目】

基礎看護技術論Ⅱ，看護過程論，成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【教科書等】

松尾ミヨ子他:ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント第5版,メディカ出版, 2018.1

【参考文献】

特に指定しない。

【成績評価方法】

筆記試験(80%)，授業・演習態度(20%)等により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

授業では、シミュレータ学習や事例検討等を取り入れ、実践したアセスメントへの振り返りを通して、クリティカルシンキング(批判的思考)の能力を身につけてもらいたいと思います。また、本科目に関連する講義、実習等の既習の知識を応用するために、予習、復習を積み重ねていってください。